



な か た よ し じ ょ

## 中 田 昌 女 氏

生年月日 明治 39 年 11 月 12 日生

住 所 田辺市秋津町

明治 39 年 (1906 年) 11 月 12 日、西牟婁郡田辺町 (現田辺市) に生まれる。

昭和 9 年 (1934 年)、下秋津村 (現田辺市秋津町) の中田秀次郎氏と結婚。家業に励む傍ら、農家の手助けにと、昭和 17 年 (1942 年) に農繁期託児所を開設。太平洋戦争により一時中断するが、戦後、昭和 26 年 (1951 年) に「あやめ保育園」として再開、約 2 年間にわたって農繁期保育を実施したほか、地域の先達として婦人会活動にも積極的に参画し、その円満な人格をもって西牟婁郡婦人会会長や田辺市婦人団体連絡協議会会長に推挙され、様々な活動を通して女性の地位向上や地域社会の発展に尽力した。

一方、若齢の頃から生け花と茶の湯の道に心を打ち込み励んできた氏は、その道を自分のたしなみのみとせず、田辺高等学校をはじめ、市内各地で指導をするとともに、戦後、田辺市茶華道連盟発足の際には役員の一員としてその実現への一翼を担う。その後、同連盟の運営と発展のために力を尽くし、昭和 54 年 (1979 年)、副会長に就任。また、昭和 33 年 (1958 年)、未生流 (庵家) 紀南支部設立の際には発起人の一人として奔走、設立実現当初は副支部長、さらに、昭和 40 年 (1965 年) 以降は支部長として長年にわたり当地方の未生流華道の普及と支部の充実・発展に尽力する中で、和歌山県いけばな協会の役員や未生流 (庵家) の評議員、顧問をも務め、当地方の華道界、茶道界の中心的存在として広く活躍。

また、華道家として田辺市美術展覧会の運営にも早くから積極的に参画。本市の芸術・文化の振興・発展に大きく貢献している。同展覧会においては、昭和 49 年 (1974 年) から插花部門への無審査出品を続け、その充実に寄与するとともに、昭和 59 年 (1984 年) には運営委員に就任し、翌年、一般公募による「生け花部門」の創設と、その後の運営・審査等に深く携わるなど、同展覧会、とりわけ生け花部門の充実・発展に尽力し、いわゆる「市展」として半世紀有余の歴史と伝統を築いている同展覧会を支えてきた一人である。

その他、後進の指導にも熱心に取り組み、自宅をはじめ市内数カ所で生け花の教室を開催するなど、地域の人々に日本の伝統文化に接する機会の提供、あるいは花木を愛でる豊かな心の育成等々、長年にわたり華道、茶道の普及・振興を通して本市文化の向上・発展に尽くした功績は誠に多大である。

## 第 35 回 (平成 16 年)

(略 歴)

大正 12 年 (1923 年)	和歌山県立田辺高等女学校卒業
昭和 25 年 (1950 年) 8 月	西牟婁郡婦人会会長
昭和 33 年 (1958 年) 4 月	田辺市公民館運営審議会委員
昭和 37 年 (1962 年) 4 月	同上
昭和 37 年 (1962 年)	田辺市婦人団体連絡協議会会長 (第 5 代)
昭和 33 年 (1958 年) 1 月	未生流 (庵家) 紀南支部副支部長
昭和 35 年 (1960 年) 4 月	未生流 (庵家) 評議員
昭和 40 年 (1965 年) 1 月	未生流 (庵家) 紀南支部長
昭和 44 年 (1969 年)	和歌山県いけばな協会常任幹事
昭和 49 年 (1974 年)	田辺市美術展覧会無審査出展
昭和 54 年 (1979 年)	田辺市茶華道連盟副会長
昭和 56 年 (1981 年) 4 月	未生流 (庵家) 顧問
昭和 59 年 (1984 年)	田辺市美術展覧会運営委員
昭和 60 年 (1985 年)	田辺市美術展覧会審査員 和歌山県いけばな協会中紀支部長
平成 9 年 (1997 年)	田辺市美術展覧会顧問
平成 13 年 (2001 年)	田辺市美術展覧会招待出展